

(様式4)

◆ (氏名) 近田由紀子

<所属・職名>

目白大学 専任講師

<略歴>

静岡県公立小学校教諭(香港日本人学校派遣含)
大阪大学大学院連合小児発達学研究科修了 小児発達学博士
米国イースタンミシガン大学客員研究員
文部科学省外国人児童生徒等教育支援プロジェクトオフィサー

<これまでの研究活動、外国人児童生徒等教育に関する経験など>

静岡県公立小学校教師として、国際理解教育、帰国・外国人児童教育に携わり、日本語指導が必要な児童多数在籍校だけでなく少数在籍校にも勤務しました。学校規模や在籍数の差異はあっても地域のNPO団体やボランティア団体、関係機関と連携して受け入れ体制を整えて外国人児童等教育を進めると、他の児童や教職員にもプラスになることを教師たちが認識できることを明らかにしました。

文部科学省外国人児童生徒等教育支援プロジェクトオフィサーとして「外国人児童生徒受入れの手引き改訂版」の作成や施策に関わりました。

大学院では小児発達学を学び、外国人児童生徒等の発達の課題について探求しました。

2021年度まで「在外教育施設における日本語力向上プログラム開発や教員研修プログラム開発」に取り組み、「汎用性のある日本語力向上プログラム」をまとめました。その資料は「かすたねっ」とも掲載しています。

2020～2022年度国立特別支援教育総合研究所専門研修において、「外国人児童生徒等教育の動向について」の講義を担当しています。

<対応可能学校種>

小学校・中学校・特別支援学校・大学

<遠隔での指導助言> ※いずれかの□にチェックを記入してください。

対応可 対応不可

<その他(国等の委員歴等)>

文部科学省初等中等教育局国際教育課「学校教育におけるJSLカリキュラムの開発に係る協力者会議」社会部会委員(平成14年4月～平成15年3月)

文部科学省初等中等教育局国際教育課「補習授業校のための指導資料作成に関する検討会」委員(平成22年7月～平成23年3月)

文部科学省初等中等教育局国際教育課「日本語指導が必要な児童生徒を対象とした指導の在り方に関する検討会議」委員/協力者(平成22年11月～平成25年3月)

<関連URL>

<講師として担当可能な内容>

別紙「講師として担当可能な内容(モデルプログラム「養成・研修の内容構成」対応)」のA～Nの書く欄に、◎または○を付けてください。

※別紙に○を付けていただいた内容は、一覧表に整理して文部科学省ホームページに掲載いたします。

※ 本様式は文部科学省ホームページに掲載いたします。